

第3回狛江市下水道総合計画策定及び再評価委員会

- 日 時 平成 21 年 10 月 28 日（水） 19：00 ～ 21：00
- 場 所 市役所 5 F 502・503 会議室
- 委 員 長岡委員長、松島副委員長、白井委員、杉本委員、藤嶋委員、谷田部委員
事務局：渡辺建設環境部長、石原上下水道課長、遠藤上下水道課主査、岩崎上下水道課主任
- 議 題 (1) 狛江市下水道総合計画について
(2) 狛江市公共下水道事業再評価について
(3) その他
- 資 料 (1) 狛江市環境保全審議会（平成 21 年 9 月 30 日会議録要旨）
(2) 狛江市下水道総合計画（狛江市下水道総合計画策定及び再評価委員会）案
(3) 広報こまえ 平成 21 年 10 月 1 日号
(4) 狛江市下水道総合計画パブリックコメントで寄せられた意見と回答（案）
(5) 狛江市下水道総合計画パブリックコメントで寄せられた意見 原本
(6) 狛江市公共下水道事業再評価 委員質問・意見集計表
(7) 狛江市公共下水道事業再評価 費用効果分析検討資料
(8) 狛江市公共下水道事業再評価 対応方針
(9) 狛江市公共下水道事業再評価について（答申）案

議題（1）狛江市下水道総合計画について

事務局より、狛江市下水道総合計画に関する 9 月 30 日の環境保全審議会および 10 月 1～20 日のパブリックコメントの主な意見について紹介があり、それに対応したパブリックコメント回答案および計画修正内容について説明があった。

これに対する主な質疑応答は、次のとおりである。

副委員長：参考として追加した液状化危険度マップは、一般の人がどう見たらよいか、わかりにくい。下水道の地震対策と関係した図面を添付した方がよい。

事務局：管渠の地震対策計画図を現在作成中であり、完成次第差し替える。

委員長：パブリックコメント回答で、改築修繕は長期的なコストを考慮して最適な方法を選択しているとあるが、実際に検討しているのか。

事務局：具体的な検討はしていない。

委員：環境に対する事業は、市全体の事業であるので、下水道がそれに寄与するものであれば、パブリックコメントにあるように、その費用を一般会計から繰り入れすることも考えられるのではないか。

事務局：下水道は汚水私費・雨水公費の原則があるが、費用負担の考え方については、今後の市の検討課題とする。

委員長：広報や啓発の活動として、小学生の見学会等を行っているのか。

事務局：処理施設がなく、行っていない。

委員：野川の水質調査や見学、環境学習についても、計画で述べてはどうか。

事務局：検討する。

議題(2) 狛江市公共下水道事業再評価について

事務局より、公共下水道事業再評価の東京都からの事業費提供をうけての最終検討結果、前回の下水道委員会後の各委員からの質問・意見に対する回答、今後の対応方針、本委員会から市長に答申いただく意見書(案)について説明があった。

これに対する主な質疑応答は、次のとおりである。

委員：非計測項目は、一般的に他の自治体でも計測しないのか。

事務局：具体的な事例は確認していない。今回は基本的にマニュアルにしたがって検討しており、それを計上しなくてもB/Cが1以上になっていることもあり、便益に不確定な要素を盛り込んでいない。

委員長：費用効果分析にあたっては、便益をある程度割り切って考えてよいと思われる。下水道事業を実施しない方がよいという結論はあり得ないことであり、また、これがないといけないというような非計測項目もないように見受けられる。

審議の結果、事業再評価の内容について了承され「今後も下水道事業は継続する」こととし、意見書も提示案をそのまま採用することとした。

議題(3) その他

次回の本委員会は、12月1日(火)に本会議室で行う予定である。

また委員会議事録は、各委員への次回開催通知に同封する。